

(質問4)

国が農地を保全している方向にいるかという点で非常に疑問がある。地域と地域の発展のためにも、農地をしっかりと保全していくことを議会としても市に注文をつけてほしい。

(答 弁)

農地の保全は都市計画にも関係していくことになる。特に圃場整備した農地は農業振興区域ということで、本来なら農地の開発や転用ができない区域になる。国のほうも虫食い状態での開発はすべきでないと言っており、今後、農村地域の一部の農地を開発することは非常に難しい状況になってくると思っている。そういった意味では農地保全が進むのではないかと思う。

(質問5)

はくさんタニタ健康倶楽部ポイント制度については、アドバルーンとしてはいいことだと思うが、市内にもいろんな団体があり、各地区でも高齢者の体操クラブなど頑張っている。なぜタニタだけなのか。ポイントで釣るようなやり方を行政がすべきなのかという思いがある。健康の状態でもいろいろな人がいる。何でも一つにしないでいろんな角度で健康づくりとか予防をもう少し工夫してほしい。

(答 弁)

体の状況や年齢など違うのは当然で、市もタニタに限らずいろんな施策、事業を展開している。このタニタの取り組みについては、現在やっていることもあり、せっかく始めた事業なので広めていきたいということもあり承認した。議会としても何でもかんでもタニタとならないよう、監視していかないといけないと思っている。

(質問6-1)

白山総合車両所の関係で国から予算がついて、市のほうからある程度、建てる物の発表もあったように聞いている。市にはプロジェクトチームができていますが、議員の皆さんはどのようにそのプロジェクトチームと接し、どのような質問をしているのか。

(答 弁)

車両所を活用して海外から観光客を入れて宣伝していこうということを含めて、ビジターセンターという話が出た。これは国の中で予算化されたことではなく、予算をつける前段階ということで理解をしていただきたい。

(質問6-2)

そういう状況の中で、いつごろ着手することになるのか。

(答 弁)

6月時点で車両所活用による振興ということで、ビジターセンターや西松任駅などを盛り込んだ中間的なとりまとめが終わった。この案をどのように進めていくか、費用負担をどうするのかという折衝を繰り返している。市としては費用負担をできるわけではないので、できればJRに負担していただきたいと思っている。まだ交渉中であることから最終的にどうなるのか我々にも知らされていない。結論を先延ばしというふうには取り組んでいないので、出せる段階になれば報告したいと思っており、まだそういう状態だということでご理解をいただきたい。

(質問7)

黒瀬町に野球場の敷地が確保されているが、4年間ほったらかしになっている。野球場はできないという話にもなっているが、今後はどうなるのか。

(答弁1)

松任駅北相木第2土地区画事業の計画も徐々に進んでいる状況であり、それが確定すれば野球場を建設するということになる。

(答弁2)

相木野球場の代替という位置付けで議会も承認した経緯がある。その前提条件が整えば建設することになる。土地区画整理事業も、今年中にはある程度進むのではないかとこのように聞いている。

(質問8)

政務活動費は月6万円で、年間72万円ということだが、他の自治体はどれぐらいなのか。

(答 弁)

金沢市は月16万円で年間192万円。野々市市は月2万円で年間24万円。能美市は月5万円で年間60万円。小松市は月7万円で年間84万円。加賀市は月8万円で年間96万円。

(質問9)

教職員の時間外勤務は、教職員が足りないことが原因だと思っている。タイムレコーダーを導入してから変わったということだが、以前はタイムレコーダーを使っていなかったのか。

(答 弁)

これまでタイムレコーダーはなかった。出勤簿か何かで対応していたが、議会からも質問があったことから、今年から導入した。

備 考	
-----	--